

集会案内

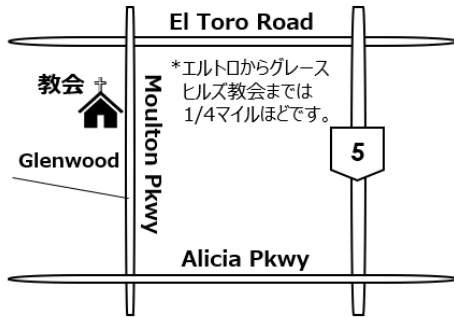
日曜日

礼拝：2:00pm-2:45pm

教会住所

c/o Grace Hills Church
24521 Moulton Pkwy
Aliso Viejo, CA 92637
中庭の小さいチャペル

地図



ホームページ

www.irvinenihongokyokai.org

榊原宣行牧師

電話(714)827-6244

Eメール: nobu@occc.org

杉村宰牧師

電話 (714)234-4778

Eメール: sugimura1950@gmail.com

◎石叫 ■

「中瀬やよい…結婚」①

私の救いまでの道のりを語る時には、私の母のことを話さなければなりません。私の母は18歳の時に職場でもあった岡山県のハンセン治療養所の中にある日本キリスト教団家族教会で洗礼を受けました。准看護師として働く傍ら、ハンセン病患者の方と共に礼拝を捧げていました。正看護師の免許を取得するために神戸へ引っ越し、勤務先で助産師の私の祖母と出会い、その祖母に見染められて父と結婚しました。私が女学院へ進学したのも主のお導きだったように思います。女学院で私はスミス先生というアメリカ人宣教師の指導のもとブラックゴスペルを学びました。讃美する機会はありませんでしたが、教会には通っていませんでした。洗礼を受けるという

社会人になってからはゴスペルを口ずさむことはあっても教会に通うこともなく、仕事と家の往復。冬はスキーの練習に勤しみ大会に出るという生活を送っていました。冬はスキーの練習に勤しみ大会に出るといって、頑張った分インセンティブをもらえ、私はキャリアを積んで上を目指すべきだ、結婚はまだ早い！とずっと周りから言われていました。しかし結婚願望はありませんでした。

周りの友達はどうやら結婚していき、子供を授かり幸せな家庭を築いていつかいるのを見て焦りを感じ始めていた時に、ある男性と出会ったのです。彼はアフリカ出身で、仕事で日本に来ていました。車で道を尋ねられ助けられたのがきっかけで、ずっと英語を使っていた私は、英語を話す機会も与えられたような気がして、彼と連絡先を交換し、やがて彼から交際を申し込まれるまでになり、ついには結婚を申し込まれました。相手の親にも会っていないし、お付き合いの期間も長くはなく、お互いのことをそこまで知らない状態でしたが、「この人と結婚しなければ、私はもう結婚できないかもしれない。この人は私を必要としてくれている」と思い、この結婚を実現しなければという気持ちが先行して行っていました。もちろん両親からは大反対されましたが、3回目の説得で彼の真剣な眼差しに父は仕方なくOKをしました。「向こうの家族に会いにいきなさい。それがこの結婚の条件」と父に言われ、私は彼の家族、親戚に会うために彼の国へ赴き、向こうの教会に通い洗礼を受け、そして結婚しました。

Rev. Tsukasa Sugimura

【わたしたちの教会の歩み】

2005年9月18日、アーバイン日本語キリスト教会は、南オレンジ郡地域の日系人とその関係する方達の救いのために、東洋宣教会北米ホーリネス教団オレンジ郡キリスト教会の伝道所として礼拝を開始しました。杉村宰牧師をはじめ、榊原宣行牧師、加藤伸江姉、佐藤裕士兄と信徒達の協力で毎週礼拝をささげ、伝道と牧会の働きをしています。

【ミッション ステートメント】

アーバイン教会の使命は、罪の中にある人々を救うために十字架について死んで下さり、三日後に復活されたイエス・キリストの歴史的事実を、まだイエス・キリストを知らない日本語を理解出来る人々に、主の大宣教命令（マタイ28：18-20）に従って宣べ伝え、ホーリネスという愛の信仰を土台として信者達の信仰の成長をうながし、イエス・キリストとの祈り深い生活へと導き、整えられたクリスチャンとすることにあります。